

1・2・3年

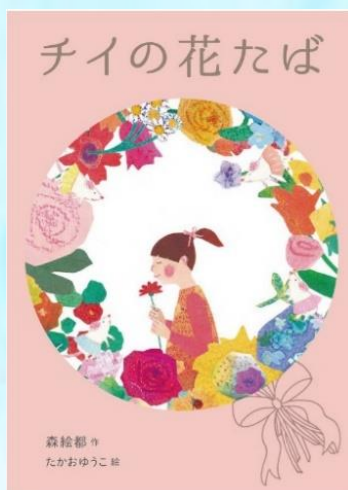
# 夏のおすすめ本 読書ポスター

## 本をよんで ころろわくわく

### 『チイの花たば』

もり え と さく いわさきしよてん  
森 絵都／作 （岩崎書店）

しょうがくせい ゆめ は な や  
小学生のチイの夢は花屋になることで  
ひ しゅんかしゅうとう は な  
す。ある日、チイは春夏秋冬の花がいっぺ  
はなばたけ まよ  
んにさくふしぎな花畑に迷いこみます。そ  
どうぶつ はなたば つく こま  
こにいた動物たちは、花束が作れず困って  
どうぶつ  
いました。そこでチイは、動物たちのため  
げんき はなたば はなたば  
に元気がでる花束やのんびりできる花束な  
はなたば ちょうせん  
ど、ちょっとかわった花束づくりに挑戦し  
ます。



### 『ミライノイチニチ』

さく しよぼう  
コマツ シンヤ／作 （あかね書房）

しょうがくせい まいあさ  
小学生のミライくんは、毎朝ロボット  
お あさ  
のランドセルに起こしてもらいます。朝の  
うご の  
じゅんぴができたなら、動くキョーシツに乗  
がっこう じゅぎょう  
って学校へひととびです。授業では、  
おじゅうりよくゆうえい ちょうせん うちゅうご まな  
無重力遊泳に挑戦したり、宇宙語を学んだ  
く  
りしています。ミライくんが暮らすこの  
ふしぎ ばしょ いったい  
不思議な場所は、一体どこなのでしょう。



### 『マメクジらくん、海へいく』

やました はる お ぶん かいせいしゃ  
山下 明生／文 （偕成社）

ちい しん  
小さなナメクジのマメクジらくんは、親せき  
あ もど  
に会いにいったまま戻ってこないおじいさんを  
うみ たび で  
さがすため、海をめざしてひとりで旅に出まし  
ふね かわ くだ  
た。マメクジらくんが舟で川を下っていると、ヒ  
せなか の  
キガエルにぶつかり背中に乗かってしまい  
した  
ます。マメクジらくんはヒキガエルの舌ですく  
われ、のどのおくにほうりこまれてしまいます。



### 『100 このタネがとんでった』

ぶん  
イザベル・ミニョス・マルティンス／文

こうの まさえ え いわなみしよてん  
河野ヤラ 政枝／絵 （岩波書店）

マツボックリから 100 このタネがと  
んでいきました。とびだしたタネのうち、  
どうろ お か  
10 こは道路に落ち、20 こは川にしずみ、  
とり のこ  
25 こは鳥たちにつつかれます。残りの  
むし  
タネも、リスにもっていかれたり、虫の  
す め だ おお  
巣になったりして、芽を出して大きくな  
ったのはたった 1本だけ。ところが、そ  
ぼん き  
の 1本の木にも、ウサギがやってきて、  
き め た  
やわらかい木の芽を食べようとします。



### 『めいたんていサムくんとあんごうマン』

な す さまもと さく どうしんしゃ  
那須 正幹／作 （童心社）

とく い しょうがくせい  
サムくんは、すいりが得意な小学生で  
ひ てがみ とど  
す。ある日、サムくんはふしぎな手紙が届  
きました。そこには、「あたにごうわをと  
あんごう か  
たいこて」というなぞの暗号が書かれてい  
てがみ さか  
ました。サムくんは手紙を逆さまにした  
ひ あんごう  
り、火であぶってみたりして、暗号のかい  
どくにちょうせんします。



### 『ほじょりん工場のすまこちゃん』

こうじょう やすい すまこ さく ふくいんかんしよてん  
安井 寿磨子／作 （福音館書店）

すまこの家のしごとは、子ども用  
じてんしゃ  
自転車のほじょりんをつくること。ある  
ひ どう  
日、すまこはお父さんからほじょりんを  
とってしまおうと言われます。お父さん  
どう  
のつくってくれたほじょりんつき自転車  
じてんしゃ  
に乗ることが好きなすまこは、練習のや  
れんしゅう  
る気が出ず、なかなかほじょりんなしで  
きて  
自転車に乗れるようになりません。そん  
なか かあ  
な中、お母さんのけがをきっかけに、す  
けっしん  
まこはある決心をします。



おうみ はちまんしりつ としよかん  
近江八幡市立図書館

おうみ はちまんしきょういく いん かい じむ きょくしやうがい がくしゅう か  
近江八幡市教育委員会事務局生涯学習課

れい わ ねん ねん がつ  
令和8年(2026年)7月